

No.	個人または団体名	活動概要	具体的な活動内容
1	豊田よさこい踊り連火真和鈴	豊田でよさこい踊り	よさこい踊りを通じて豊田で「魅せる・楽しむ・ふれ合える」をテーマに活動。2003年大学生を中心にチームを結成し豊田の郷土愛を表現したオリジナル楽曲を作り上げ、練習。交流館祭、大学祭、施設の慰問に招いていただいたり、市外・県外のおまつりにエントリーし参加することもある。現在のメンバーは親子三世代アットホームな仲間で活動中。
2	阿摺川の清流を愛する会	住民みんなが憩える阿摺川づくり	阿摺川上流の清流と自然環境を守りながら、川辺に住民が憩い川遊びのできる場所を整備することで地域内外の住民の親睦を深め、地域の活性化を推進する。 ①アマゴ・アユの稚魚を放流②河川流域の雑木の伐採・草刈・ゴミ拾い③看板の設置と散策道の整備④水生生物および水質の調査⑤「川遊びの会」実施
3	いなぶ観光協会	観光を通じた交流、地域活性化	観光案内、地域のイベント、観光を通して交流をすることで地域の活性化を図っている。
4	矢作川感謝祭実行委員会	矢作川感謝祭	矢作川に関係する様々な団体が集結し、毎年9月に河川敷の千石公園でイベントを開催している。これまでは「川のまつり」だったが、2017年から山の活動団体も合流。今後は三河湾の活動団体も巻き込んで「流域のまつり」の色を濃くしようとしている。現在は800人規模。
5	豊田市高校生消防クラブ	高校生による防火防災リーダー育成	高校生が、いざという時のために必要な知識・技術を習得する防火防災リーダー育成カリキュラムを行っている。一人ひとりが楽しみながら活動することで、豊田市への愛情と誇りを高めて、「世界一安全安心なふるさと」となることを目指して発信している。また、オープンセミナーで災害（地震、土砂災害等）のメカニズムを学び、防災学習センターの実習で市民（来場者）に体験コーナーの案内を行うことで防火防災情報の発信を行っている。
6	FUMINA DESIGN	イラスト・デザイン全般グラフィックデザイナーとして、多種多様な広告制作。デザインのカでみなさんと「とよた」を盛り上げる。	イラスト・デザイン全般グラフィックデザイナーとして、「とよた」の映画祭・演劇祭・市のイベントや「とよた」の公共施設のパンフレットなど、多種多様な広告制作。デザインのカでみなさんと「とよた」を盛り上げるお手伝い。
7	あすけ聞き書き隊	足助の聞き書き 第7集発刊	今につながる先代を築いてきた先人の知恵や苦労、時代に受け継ぐべき心やことがらを記録に残し、地域を未来につなげるためのヒントとして地域づくりに生かすとともに、若者たちが先人と関わり直接聞くことで、郷土への愛着と誇りを育む。 ①聞き書き講座にて主に新メンバーの理解を深める②地域予算提案事業で出版してきた「足助の聞き書き集」の続編の発行
8	キッズプランナー	イベントや広場運営による子育て支援活動	「ひとりぼっちの子育てからみんなで集う子育てへ」を合言葉に子育て支援活動を行っている。上郷交流館で親子向けイベントを行ったり、豊田市との共働事業で子育て支援設備「柳川瀬子どもつどいの広場」を運営。また、「地元の自然が子どもの心のふるさとに」なるように川遊びの会も開催していて、魚とりをしたり、川を流れたり・・・と川探検を楽しんでいる。
9	お笑い劇団・笑劇派	お笑いを通じて豊田を明るくする活動(WE LOVEとよたサポーターズ)	1998年に旗揚げし、今年で30周年。防犯、情報モラル、悪徳商法、環境など真面目な内容を地元要素を織り込みながらわかりやすいオリジナル笑劇を演じてきた。自治区や小学校、全国各地のニーズに合わせて豊田市各地でのイベント（豊田おいでんまつり、ふれあいフェスタなど）の司会やひまわりネットワークTV「ごちらパトロール隊2」の放映等で「WE LOVEとよたサポーターズ」として豊田市のPR活動に積極的に取り組んでいる。

No.	個人または団体名	活動概要	具体的な活動内容
10	ホンダ薬局/一番街商店街組合 理事長/豊田おいでんまつり 踊り部会会長	一番街商店街組合理事長として豊田市一番商店街を盛り上げる取り組み	冬の桜城址公園イルミネーション展示、ふれあいフェスタの段ボール迷路で設計から子供たちとの組み立て。また、豊田おいでんまつり踊り部会長としておいでん踊りファイナルの場を盛り上げる取組を行い、豊田市の活性化に貢献。
11	稲武地球子屋	豊田の山里で子どもたちと一緒に自然体験を楽しむ	稲武地区で活動する子どもを持つ母親たちの自主グループが、豊田の山里を子どもたち楽しんでもらう活動をしている。大人も子どもももっと自由に楽にいられる場を目指して、藍染め、ヘボ追い、川遊び、大根まつりなど地域の方や外部講師を招いて、大人も子どもも楽しく世界が広がる企画、お山の冒険遊び場プレーパーク、稲武に1日だけの手作り映画館で地元中学校でドキュメンタリー映画「みんなの学校」の上映会を開催しており、子どもたちと一緒に、やさしさがあふれた会場づくりができた。
12	MaTsuRiDa Revolutions	小中高生が医療施設や老人ホーム・子育て支援センター等の施設で歌やエレクトーン演奏	小中高生メンバーが医療施設や老人ホーム・子育て支援センター等の施設に出向き、普段コンサートに足を運ぶことが困難な様々な世代の方々に歌やエレクトーン演奏を通してたのしい時間を届けており、豊田市が誰にでも優しく、住みやすいまちに貢献。
13	やさしい暮らし委員会	やさしい暮らし委員会	あさひめぐりは、平成27年度に結成された有志団やさしい暮らし委員会が中心となり、旭交流館、ぬくもりの里とも連携しながら、一枚一枚丁寧にあつめられた季節の花や鳥や昆虫や風景写真、手書きの書、短歌、俳句、方言劇場、子どもたちの作品から、お年寄りの作品まで旭につながる365人以上の人がかかわって制作。「旭を離れて施設に入居せざるをえなかったおばあちゃんから毎日大切にめぐって捨てずにとってある。」「お気に入りの日はめぐれずにそのままに何日もそのままになってしまう。」「あさひめぐりの話が共通の話題になっている」「旭に住んでいたときを懐かしく思い出しながらめぐっている」など、旭に住む人、旭出身者、旭につながるのあるさまざまな人からの声が届いている。
14	green maman	環境、平和、食の安全などの問題を考え、スローで土の匂いがする日々を目指した取組	月1回、高橋地区寺部町の守綱寺にて、生産者さんと顔の見える関係を大切にした朝市を開催。豊田市で無農薬・自然栽培などで作られた野菜やこだわりのある手作り品が並ぶ。一般募集で集まった人たちとお米の自然栽培や味噌仕込みなど手仕事ワークショップを開催。憲法caféや環境に関する講座など、それぞれが興味を持った平和や環境問題に取り組む。
15	いなぶ桶茶茶温会（ちゃおんかい）	桶茶の再現	江戸末期まで嗜んでいたであろう「桶茶」を豊田で再現しようと活動。日本茶インストラクター中根めぐみさんとの出会いと桶茶の道具が古橋懐古館にあったことをきっかけに、稲武地区大野瀬町の茶葉を使い安定した味で皆さんに飲んでいただけるように研究し、地元の漬物とともにパフォーマンスや体験もできるようにしている。
16	農村舞台賞栄座協議会	農村舞台賞栄座を生かした文化による地域づくり	農村舞台「賞栄座」を今に生きる文化資源として活用し、「文化芸術村」として新たな農山村文化の創造的な交流を進めることで集落の再興を図っている。賞栄座整備に係る建物及び周辺の現況調査並びに設計ワークショップの実施
17	天然アユの生態調査	豊田市矢作川研究所の調査の実働部隊としての活動	豊田市矢作川研究所の研究調査の実働部隊として鮎釣り師を中心に設立。矢作川や三河湾での調査を長年続けて、天然アユの生態を解明してきた。「釣り師も研究者のはしくれ」の精神で活動している。

No.	個人または団体名	活動概要	具体的な活動内容
18	袖カメラの店白樺 吉村達也	写真撮影による豊田市の記録と豊田市駅前の発展に向けた取組	豊田市駅前商業協同組合の代表理事を長年務められ駅前商店街の発展に寄与。また、プロカメラマンとして豊田市の様子の撮影を続けている。
19	サポート空間 『ととの樹』	呼吸と動きの3ステップでストレスから自由になり、人生の質を向上させる新しい心身療法の提供	梅坪に『元気になるためのシェアスペース』をコンセプトに創った樹木空間「ととの樹」。レンタルスペースとコミュニティCaféにより、自分らしさを見つけたり、自分の魅力と社会をつなげる空間として役割を担う。自然に恵まれた西山公園でのワークショップや自分らしさを大切にしながら人とつながれるセルフケア法「リセット@」により心と体をサポート。
20	読み聞かせグループ竹の子	読み聞かせ、紙芝居	小学校、中学校での定期的な読み聞かせ、福祉センターとの共同イベントでの活動を行っている。依頼があれば出張でのパフォーマンスも行う。
21	とよたプロモ部	豊田市を勝手にプロモーションしちゃおう！	市民が自ら豊田市の魅力を発信する団体。部員や市民に市内で活躍する情報発信のプロフェッショナルの講座を開催してスキルアップを行っている。また、WE LOVE とよたを推進するために、とよたのりのりチャンネルやとよたのりのりGO！を立ち上げ、交流会やフェスタを開催するなど活動を広げている。
22	明川活性化プロジェクト	「しだれ桃」でふる里づくり	「しだれ桃」が咲きほこる、豊かな農村景観の創出と、地域住民が一緒になって植栽活動に取り組むことで地域の連帯の強化を図っている。 ①植栽場所の整備②「しだれ桃」苗木の植栽③これまでに植栽した「しだれ桃」の管理作業
23	チームおいでん	豊田おいでんまつり、マイタウンおいでんの運営	豊田おいでんまつりを市民がより楽しめるきっかけづくりの活動。①豊田おいでんまつり、マイタウンおいでん14会場のうちの1つ「まちなかおいでんwith JA」を企画・運営。今年で11年目。②マイタウンおいでん14会場合同情報誌「マイタウンおいでんへ行こう！」年1回編集～発行～配布。今年で4年目。を主に行っている。メンバーのほとんどが毎年、おいでん踊りにも参加。
24	ようこそいなぶふれ愛隊	稲武の案内人、ガイド会	稲武を訪れる人のガイドをしている。歴史や文化を学び、特に国道153号線沿いの旧街道、塩の道をまち歩きするときに活躍。バスツアーでの案内人としても活動中。
25	移動水族館&ワークショップ等	矢作川の魅力と実力を市民に伝える	軽トラックを使った移動水族館、矢作川に関するゲームやワークショップ、川遊びイベントなどを行い、子育て世代のファミリーに矢作川の魅力と実力を伝えている。
26	里園侑希（ササキホールディングス ハルスターエンターテイメント事業部）	豊田市を盛り上げる活動	猿投地区出身。通称ゆっきー。2011年～2014年「ご当地アイドルS r a r ☆ T」のリーダー、2014年～啓発音楽ユニット「ViviT」リーダーとして活動しており、FMとよた（ラジオラヴィート）毎週金曜日「あい♥らぶ」のパーソナリティーや市内各地のイベント「産業フェスタ・爆裂元気ステージ」、「藤岡・ふじまつり」等で司会を務め活躍。2017年11月グビーワールドカップ2019™開催都市特別サポーターにも任命。

No.	個人または団体名	活動概要	具体的な活動内容
27	自立のための道具の会・TFSR	家庭や会社などで使われなくなった「道具」を途上国へ要請にこたえる形で提供する活動	自立のための道具の会・TFSR Japanはご家庭や会社などで使われなくなって眠っている「道具」を提供していただき、これらが必要としている途上国へ要請にこたえる形で提供する活動をしている。豊田市の山の中が作業本部になっているので山間部の自然を楽しみながら国際協力に関わることが出来るということで楽しく活動している。
28	豊田1万人笑顔プロジェクト	豊田の街を若く健康で笑顔輝く美しい女性1万人作って活性化！	豊田市の若宮町のサロンを拠点に。イメージの力を使って「顔」「体」「心」を磨くセルフ美容法で、笑顔輝く女性のサポート。自分の美しさ、魅力を開花して夢を叶え、ステキな仲間づくりをしている。
29	おいでん・やな	稲武地区でヤナの再現	大野瀬地区根羽川にて地域住民がヤナを再現。稲武地区の川の魅力の発信に貢献。
30	ウッディーラー豊田	「木を使いたい」「木を届けたい」をつなげる木のディーラー「WOODEALER」	「ものづくり」と「森づくり」をつなぎ、豊かな暮らしをつくる、2つの木材ブランドをお届け。顔が見える味わいあるCRAFT WOOD、安心の暮らしを支える高品質のMAKER WOOD。大きな建物から身近な家具まで、あなたに届けたい森があります。新たなビジネスモデルとして豊田市の木を、森から消費者の皆さんに届けるまでに携わる約60の団体、企業、個人の会員とともに、イベント企画、ワークショップ、講演会、商品開発、製品製作、マッチング事業などさらに積極的に取り組んでいる。
31	とよた五平餅学会	郷土食・五平餅のブランド化	五平餅の歴史、文化の研究、とよた五平餅マイスター認定、五平餅の普及活動、商品開発などを行い、とよたの郷土食のブランド化を図っている。
32	ひやくようばこ（安藤順）	山里の活性化、子どもを取り巻く環境をよりよくするための活動	人権、特に子どもの人権や権利について知ってもらう、学ぶ場として、気軽に参加できる読書会を足助やまちなかのcaféなどで定期的に開催。子どもの権利を守る責任のある人の力を高め、さらに子ども自身が権利を持っていることを理解し、権利を侵害された場合に主張できるように支援できるような大人となるためにみんなで学び合っている。子どもだけでなく、社会的弱者を主体としたドキュメンタリー映画の上映会をするなど、いろいろな楽しい企画を子どもたちと一緒に開催。百葉箱＝百の葉の葉＝百の葉に目を澄まして子どもたちの人権を守る、という想いを表している。
33	和久田朱里	豊田市を楽しくしよう活動（豊田市ご当地アイドルStar☆Tのリーダー、乙女イノベーションへ参加）	豊田市ご当地アイドルのStar☆Tのリーダーを務め豊田市内外に豊田市の楽しさを発信している。豊田市が大好きで「豊田市以外では生きていけない」「名古屋、東京等の遠征より豊田市内のライブの方が楽しい」という思いから、ライブへ足を運んでくれた人の為に日々ダンスや歌のレッスンへの努力を惜しまず、またライブを楽しむアイデアを普段より考えてくれている。また、乙女イノベーションにも参加して女性目線の街中の楽しみ方などを提案してくれている。
34	株式会社As Mama	昔ながらの頼り合いを今風のネットで！！お母さんたちの悩みを解決し、楽しめる場づくりを目指した会社	ファミサポの今風版で、頼り合い子育て、ご近所さんとの預け合いや、子育てに関する出会いの場作りを行うママサポーター。インターネットにより誰でも仲間になれ、豊田市を子育てしやすいまちにしていこうと活動している。どうしても若い子は頼りにくい、美容院に行きたいのに、行けないお母さんたちの悩みをお母さん同士で助け合おうとした安心安全なシステムを広げていく。
35	アンテナショップきらり	市内障がい者福祉施設が作った雑貨、飲食の販売と活動の情報発信	豊田市内27の障がい者登録施設の手作り商品（車の形のクッキーやトヨタの木を使った商品など）の販売や地域とコラボした商品づくり、地域の草取りなどを豊田市の福祉の力で解決、産み出すお手伝いをしている。

No.	個人または団体名	活動概要	具体的な活動内容
36	めえ〜ブルファーム	ヤギの里づくりと交流	ヤギの里となる環境整備と地元住民とヤギとのふれあいにより、楽しみながら農地・山林の保全と再生、有害鳥獣の防止を図っている。①牧場及びふれあい広場の整備②小屋の未完成部分の建築③ヤギの貸し出し放牧④ヤギの飼育、繁殖⑤ふれあい広場の遊具の整備
37	足助まちづくり推進協議会	足助の魅力伝承本「足助噺」作成	足助の歴史・歳時記等をまとめた参考書籍の発刊。検定試験等の実施により、足助内外の多くの方に足助の町の魅力を知ってもらい、「住み続けたい・住んでみたい」人を増やし、商店街の活性化やまちづくりの担い手を獲得している。また事業に関わる人々の人材育成にもつながる。 ①住民への取材の実施、校正、資料等の掲載承諾取得②印刷、発刊③自治区、学校、図書館ほか関係機関への配布④足助検定実施体制の検討、問題作成
38	地域人文学研究所	地域をオモシロクするコトを企むまちづくり団体	足助の街並み「寿々家再生プロジェクト」、とよた世間遺産認定、化学技術者の先駆け宇都之郎顕彰活動など、地域おもしろくする様々な地域活性化に向けた取組を行っている。
39	矢作川Life	矢作川のファンづくり	矢作川のファンを増やすために、矢作川応援ブランド「矢作川Life」を立ち上げ、イベント時にTシャツ、ポロシャツ、バッグ等のグッズを販売している。その利益は市民応援金として、秋に開催される「矢作川感謝祭」の運営に寄付している。
40	非営利組織 IPPO CLUB	地域経済社会の活性化、青少年の健全育成	交流館にて市内の高校生大学生が小学生と一緒に活動する「IPPOクラス」を年に数回、開催。宿題や課題をする時間と工作やレクリエーションなどをする時間があり、小学生対象イベントとして豊田市内でのいちご狩りや沢登り、スキー教室なども開催している。年2回の「IPPOだより」発行のほか、被災地支援の活動などのボランティアへの参加や協力。
41	とよたプレーパークの会	子どもの居場所づくり、自由な遊び場鞍ヶ池プレーパークの定期開催	鞍ヶ池公園で自由な遊び場プレーパークを毎月週末を中心に開催。「けがと弁当は自分もち」をモットーに、子どもも大人も自分のやってみたいと思うことを実現していく居場所づくりをしており、みんなが豊田市を楽しんでいる場所にしていこうと活動中。 運営や子どもたちの事、家族の事、気になっている事などを和気あいあいと話し合っている。
42	Star☆T	豊田市のご当地アイドル	「豊田の元気と魅力を全国に発信しよう！」をキャッチフレーズに、愛知県豊田市のご当地アイドルとして2011年12月にステージデビュー、地元イベントでのパフォーマンスやテレビ・ラジオ出演、ご当地ソングの発表、地元行政機関・団体・企業等との連携などによる地域活性化活動を行っている。 ※グループ名は、豊田の星、T o y o t a の S t a r を目指して「Star☆T」（スタート）と名付けた。
43	暴れん坊チキン	からあげで豊田の味、ハーブソルト（足助の塩使用）	2018年からあげフェス（京都、北九州、千葉、名古屋）など県外にてとよたの味を販売！豊田の食材を使った商品をもっともっと広げていきます！
44	酒井紗雪（食育応援し隊☆SAYU☆）	中学生の目線で、とよたの皆さんに「食育」を伝えたい！	中学生のボランティア。豊田市の「食育応援し隊」として初めて中学生で登録。農家さんやお店の取材、学校給食のレポートをインターネットにのせたり、学校に報告したりしている。「食」を通してみんなを笑顔にしたいという夢を叶えるため多くの人に活動を知ってもらっていろいろな世代の人に興味をもってほしい。

No.	個人または団体名	活動概要	具体的な活動内容
45	矢作川漁業協同組合	観光ヤナの活性化	漁業協同組合も組合員だけでなく、一般市民に矢作川の魅力を伝える必要があると考え、2年前から力を入れ始めた活動。観光ヤナへの新しい集客の模索でもある。矢作川の自慢である「天然アユ」や「観光ヤナ」を多くの市民に知ってもらうため「きき鮎会」や「塩焼き体験会」を開催している。情報発信に「とよたまちさとミライ塾」を活用することで、これまで川に関心の薄かった層にも情報を届けられるようになった。今後も発展させたい。
46	豊田市役所商業観光課 森本亮	豊田おいでんまつり マイタウンおいでんに尽力	2015年～豊田おいでんまつり「マイタウンおいでん」豊田市内各地14会場担当事務局員として活動しており、各会場への事務連絡の共有等とりまとめに尽力。また、2015年「冬のリトルおいでん」イベント（豊田松坂屋内9階、市民活動センター前）で踊りインストラクターを派遣したり、14会場合同情報誌「マイタウンおいでんへ行こう！」発行（3年間）の掲載協力など、市民の活動をサポート。
47	芳泉会	民謡・三味線を教えている	豊田市の空き家をリノベーションした複合施設CONTENTS nishimachi(コンテンツニシマチ)の2階にて、豊田市の若い人や子供たちにも民謡を気軽に楽しんでもらいたい！という思いから、ワンコインでお稽古をスタート。古くからある地元の唄「拳母小唄」をはじめ、全国の民謡をみんなで覚えながら唄っている。今では月2回の“民謡パラダイス”に加えて“三味線パラダイス”も始まり、わいわい楽しみながら民謡に触れることができる。そして豊田市中心部だけではなく、旭の福蔵寺でもワンコインで民謡を、三味線は個人レッスンで練習。旭の最光院で行われている梅まつりにも参加。
48	そらいろのたね	絵本の読み語り	崇化館中学校で中学生に絵本を読み、絵本の話しや、学校、子どもの話などで交流。平成20年から年間約8回。短い時間ですが、読み続けてきたことが子供たちにとって、なにかの栄養になってくれると考え、こつこつと活動を重ねていっている
49	親子コミュケの会/とよた子育てサークルネットワークの会「コネット」	とよたの子育てをサポート！	子ども向けゲームや活動PRにより市と民間と支援団体を子育て世代とつなぐ取組を行っている。
50	NewArt（ニューアート）	豊田で唯一の！？サブカルライブ 歌姫シリーズ	サブカルチャーのアイドルやシンガー、パフォーマーが豊田市（WAON大林店）に集まりライブを定期的に開催しています。豊田市でもサブカルイベントができることを証明しつつ、地元豊田のアイドルやシンガーの発掘もしています。
51	CONTENTS nishimachi	リノベーションまちづくりによるまちに新たな賑わいを創出	2016年「リノベーションまちづくり」事業の一環として、民間のまちづくり会社「株式会社STREET & PARK PROJECT」で補助金を受けず、築60年程の空き家をリノベーションし、豊田市中心市街地で起業する人や新しい事業やにぎわいを起こしたいプレイヤーが入居し、これまでにない、まちなかの魅力づくりを創出する取組をしています。現在、カレーとスープのカフェ「Little Cockoo」、天然酵母や素材にこだわったベーカリー「Riso」、橋ノ下世界音楽祭とタートルアイランドが運営する文化センター「橋ノ下舎」が入居し、コンテンツ毎の個性により、年間5万人程が訪れる施設に成長。遊休資産を活用することで、これまでなかなか同じステージに上がる機会がなかったプレイヤーがともに活動し、地域と密着し、人と人、ものとの、人とのをつなぐことで、近隣のエリアに様々な波及効果を及ぼし、まちに新たな賑わいを創出しています。
52	明和を元気にする会	やっとかめの発行	明和自治区や区内6自治会の諸活動・伝統文化・民話・歴史的遺物・自然、地域で頑張っている人などを取り上げて区民へ紹介することで、歴史や文化等を後世に引き継ぎ、住民の地域の良さへの関心、意識を高め、人材の育成となり、区民のつながりと郷土愛を育みます。 ①『やっとかめ』発行②取材・資料保存活動を進める

No.	個人または団体名	活動概要	具体的な活動内容
53	山本健一郎	豊田市を誰よりも楽しむ実践	毎週、どこか豊田市内のイベント、企画に参加し豊田を楽しんでいます。その経験を活かし、イベント運営にアドバイしたり、知り合いにイベントの紹介しています。また、人と人をつなげ、新たなイベントの切っ掛けを作ったり、イベントの規模拡大や内容の充実を図るほか、地産の物のPRの為、お土産、差し入れは豊田産の物を必ず入れています。(本年は100%達成)
54	みみにつくびー	みみにつくびー	ママのための癒しマルシェ。消しゴムはんこやハーバリウムなどのワークショップを中心に、耳つぼやハンドマッサージなど、普段育児に家事に忙しいママたちを癒して、豊田市を子育てしやすいまちにしようと活動しています。スタッフみんなでお子様を見守るようなアットホームなマルシェです。
55	華豊の友	日中文化交流の懸け橋として交流の場の提供	豊田市を拠点として、市内に住む中国人を中心に日本人も含めたメンバーで、文化交流などのボランティア活動を行うことで、市内に住む中国人たちに交流の場を提供すること、またより良い社会を目指して文化交流活動を行い、交流を通じて日本人の中国人への理解を深め、両国の人々の相互理解と相互信頼を促進する「日中の架け橋」となることを目指して活動しています。具体的な活動としては、中国語教室、中国芸術や気功養生による交流活動等により地域の皆さんとの国際交流を深めたり、中国での植林活動や災害のチャリティーコンサートを開催するなどにより、豊田市発でグローバルな活動を行っています。
56	五反田棒の手保存会	五反田棒の手の伝承と地域づくり	愛知県無形文化財「棒の手(鎌田流)」を後世(中学生・高校生)に伝えるため、足助地域外のイベントで五反田地区への定住促進PRを行っています。 ①小中学生に棒の手の練習指導②明和小学校へお願いし児童に棒の手を教え、秋祭りに披露③棒の手の道具、衣装の整備④香嵐渓もみじ祭りにおける小中学生の演技披露参加⑤他の保存会との交流、勉強会(演技指導)に参加
57	小田木人形座	人形浄瑠璃	稲武小田木で江戸時代、庶民が楽しんでいた人形浄瑠璃を地元住民の有志により再現に取り組んでいます。一度途切れたものを再現するのは大変ですが、多く残されている浄瑠璃人形の「かしら」や農村舞台などの資源を活かし、他地域(県外)の交流や協力も得ながら舞台での上演を行っています。
58	東大島ふるさと考	梅林寺跡地、桜ヶ丘の景観維持、及び小学校通学路の環境維持	草刈り等の活動により、東大島町の景観、環境を維持する活動です。集落が一望できる豊かな自然と梅林寺の歴史、桜ヶ丘の景観を守り、小学校通学路環境整備で小学生が安全に登校できる環境を確保しています。また活動を通じて自治地域の活性化、コミュニケーションを高めています。①梅林寺跡地斜面の草刈を行い、景観維持に努める②桜ヶ丘の斜面の草刈を行い、景観維持に努める③小学校通学路の草刈等により、環境の維持活動を行う
59	ゆめばレット	障がいを持つメンバーが、軽スポーツやお料理講座を開催し、社会体験の機会を作っています。	市民活動団体「ゆめばレット」です。私たちのモットーは「文化・芸能を愛し、それぞれの特技を生かして、楽しく地域社会に貢献する」です。映画会やコンサートの開催、他団体の協力を得て地域ふれあいイベント「ふらっとルーム」開催や小学校訪問事業もしています。障がいを持つメンバーには、軽スポーツやお料理講座を開催し、社会体験の機会を作っています。性別・年齢、個性の違いを超えた活動により地域貢献を楽しみ、人の繋がりが広がることを願っています。豊田市で生きて、豊田市の魅力を感じて、これからも大いに楽しみます!

No.	個人または団体名	活動概要	具体的な活動内容
60	野見山ふるさと同好会	「野見山団地 生誕 50周年記念誌」の編集	「野見山団地 生誕 50周年記念誌」の記事収集、編集作業を毎週継続して行っており、平成30年の10月に130頁の小冊子を区民&関係機関に配布予定です。「ワクワク事業」の助成金で実施しています。
61	一級建築士事務所 風とガレ	豊田市にあるまだ知られていない先人の知恵や工夫などの魅力ある日本建築を見つけ出して多くの人たちに知ってもらおう活動。	民家再生・リノベーションを専門とする豊田市の建築設計事務所です。奈良で古民家再生や文化財保存修理工事の技術を学び、日本人の知恵や遊び心がつまった日本建築の魅力をたくさんの人に伝えたいと思い、民家再生・リノベーション専門の一級建築士事務所『風とガレ』を設立しました。昔の芸術とも思える匠の技術に新しい技術を組み込みながら機能的でかっこよい空間を作ります。とよたまちさとミライ塾で、重要伝統建造物群保存地区である足助の街並みを遊び心がつまった日本建築のおもしろいポイントを解説しながら散策をするプログラムを開催するなど、地域に根差した活動も展開しています。足助以外にも、上挙母町や百々町など他の街並みも只今調査中です。
62	とよた演劇協会	演劇を主とした文化活動による街の活性化	演劇を通して、演劇人の交流の場づくりや勉強会、研修会の開催、演劇祭や公演の実施、情報発信などにより感動させることでまちの活性化への支援を行っています。
63	とよたの山ちゃん	朝活バランスボールin豊田スタジアム	地域の人がつながる場として、不定期開催ですが、スタジアムの広場で早朝バランスボールをやっています。朝行うことで1日を有効に使いながら、人と人のつながりの場となり、バランスボールエクササイズにより健康への意識向上を図ろうという活動です。
64	旭木の駅プロジェクト実行委員	旭木の駅プロジェクト	旭木の駅プロジェクトでは、「軽トラとチェーンソーで晩酌を」を合言葉に、地域の間伐材が集められ、旭地域内の商店で地域通貨モリ券に交換して、流通する仕組みを運営しています。実行委員会のメンバーは、地域の山主、商店主、Iターンの若者、研究者、NPO、行政で構成されています。「自分たちの旭地域を自分たちの力でよくしていきたい。」そんな想いを木やモリ券にのせて活動しています。
65	あさひ薪研	あさひ薪研	間伐した杉・檜を中心に、せっせと薪づくりに取り組み、ひとつ、ひとつのつながりを大切にして、心を込めて薪を届ける。木の駅と共に、薪で、森と地域がぽかぽか暖かくなる活動を続けています。
66	特定非営利活動法人 みち	デイサービス型地域活動支援センター 畦道	病気や障がいがあっても個人が尊重される活躍の場があり、一人で苦しむことなく安心して暮らし続けられる住みやすい地域づくりを目指して活動しています。
67	とよた都市農山村交流ネットワ	豊田市の農山村地域で、子ども達のセカンドスクールをはじめ、交流というキーワードで地域の活性化をはかる活動をしている様々な個人や団体のゆるやかな集まり	私たちの子や孫が住み続けたいと思う 帰りたいと思うそのような「山里」にしたい。訪れる人がまた来てみたいと思う 住んでみたいと思うそのような「山里」にしたい。そのような「山里」の山・川・里で 自然にふれ山仕事をして野良仕事をして 人と交わることが幸せだと思う。そんな輪（ネットワーク）を広げたい。 「とよた都市農山村交流ネットワーク」は愛知県豊田市の農山村地域で、子ども達のセカンドスクールをはじめ、交流というキーワードで地域の活性化をはかる活動をしている様々な個人や団体のゆるやかな集まりです。